

# みけかど 三毛門カボチャ

栄養が豊富でヘルシーな「三毛門カボチャ」。9月～12月頃まで三毛門南瓜保存会で購入できます

【豊前市】

「三毛門カボチャ」は、約450年前にポルトガルから伝わった日本最古といわれるカボチャです。昭和3年には昭和天皇に献上した歴史があり、今年7月には豊前市の天然記念物に指定されました。

トロトロになるまで煮た「三毛門カボチャ」に、練った小麦粉を加えた団子汁は、カボチャの甘さがひき立ち、まるでスイーツのようなおいしさです。食べ物が乏しかった戦前戦後は特に重宝され、当時を知る人々にとっては命をつないだ懐かしい味だといいます。

しかし、昭和40年代になると西洋カボチャの人気に押されて「三毛門カボチャ」の生産者が減少。そこで、貴重な伝統文化を後世に残したいと立ち上がったのが平成19年に発足した三毛門南瓜保存会です。「現在は、三毛



今年収穫された「三毛門カボチャ」と三毛門南瓜保存会のみなさん(右から2番目が猫田さん)

門小学校でカボチャの栽培指導や加工品の製造販売、「三毛門南瓜音頭」の普及活動に取り組んでいます」と語るのは4代目会長の猫田信廣さんです。

地域で守り育ててきた「三毛門カボチャ」を味わいに、ぜひ豊前市へ出掛けてみませんか。

問い合わせ：三毛門南瓜保存会(JR三毛門駅前)  
☎090-8831-4115 ファクス0979-82-5173  
営業時間：9時30分～12時 定休日：土日祝日・盆・年末年始



甘くてトロトロに溶けたカボチャに、ほんのり塩味の団子がよく合う団子汁



「三毛門カボチャ」のワインや焼酎など、お土産としても人気が高い加工品の数々

Do you know Fukuoka?

## 知ってる? 福岡県 vol.10

# 悪事は働かず、人を守る水神様 田主丸のかっぱ伝説

久留米市田主丸ではかっぱが「水神様」として信仰されているのをご存じですか？

県南部を流れる筑後川は、古来より洪水が頻発する暴れ川でした。人々はこの洪水を神のたたりと考え、水神を祭って安全を祈願しました。その後、かっぱが洪水を収める神としてあがめられるようになり、かっぱ信仰が根付いたとされています。

田主丸のかっぱ伝説の由来は諸説ありますが、「中国から熊本県八代市の球磨川に渡来したかっぱが、肥後藩主・加藤清正に追い



九千坊本山田主丸河童族事務局の孤田馨藏さん

出されて筑後川に逃げ込んだ説が有力です」と語るのは、九千坊本山田主丸河童族事務局の孤田馨藏さんです。河童族は、芥川賞作家で『河童曼荼羅』の著者である火野葦平さんとの交流をきっかけに昭和30年に発足し、毎年

どこか愛嬌のある「28河童」。他にも「鉄河童」や「河童の壁画」など、「かっぱ巡りMAP」に24カ所のかっぱを紹介



通称「かっぱ駅」で知られるJR田主丸駅。平成2年に地元高校生のデザインが採用され、今年7月にカフェ「カパテリア」を併設しリニューアル



8月8日に「河童祭り」を開催するほか、11月中旬の「田主丸耳納の市」などに積極的に参加しています。

田主丸の町を歩くと、かっぱが寝そべっているユニークなデザインのJR田主丸駅をはじめ、かっぱの木像や石造、壁画や絵画など、いたるところでかっぱに遭遇します。

その数はなんと千体を超えて、現在も増え続けています。ぜひJR田主丸駅で入手できる「かっぱ巡りMAP」を片手に、川と人をつないできたかっぱを探しに出かけてみませんか？

田主丸耳納の市 11月17日(土)・18日(日)  
場所：福岡県緑化センター(久留米市田主丸町益生田1125)

問い合わせ：久留米観光コンベンション国際交流協会田主丸事務局  
☎0943-72-4956 ファクス0943-72-4959